



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 兵機海運株式会社

上場取引所 東

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 梅崎 慎一

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,976	15.5	349	33.7	391	32.2	271	33.6
2023年3月期第2四半期	9,437	29.7	527	126.8	577	131.8	408	143.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 493百万円 (12.3%) 2023年3月期第2四半期 439百万円 (69.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	229.54	
2023年3月期第2四半期	347.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	13,144	4,363	33.2	3,677.85
2023年3月期	12,794	4,000	31.3	3,388.51

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,363百万円 2023年3月期 4,000百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				115.00	115.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	21.1	520	5.1	550	9.8	400	9.5	338.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2.(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	1,224,000 株	2023年3月期	1,224,000 株
2024年3月期2Q	37,613 株	2023年3月期	43,413 株
2024年3月期2Q	1,182,900 株	2023年3月期2Q	1,177,001 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、約3年にわたる新型コロナウイルス対策の行動制限が解除された事により個人消費やインバウンド需要が回復し、景況感は緩やかな上昇基調となりました。また、半導体を始めとする製品原材料の供給制約の緩和により各種製品の生産回復に加え、企業の設備投資も堅調に増加しました。一方で、欧米の金融引き締め継続によって外国為替市場で円安が再進行しており、国内においてもインフレ圧力が高まっている事、また中国の不動産市場の悪化等による経済の下振れ懸念や米中貿易摩擦など、世界経済の先行きにはリスク要因が停滞しております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、国民生活と企業活動のライフラインを支える物流業者として、如何なる時世にも顧客に対する輸送責任を果たす「堅実な兵機」との信頼を得るべく、事業展開を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの営業状況は以下のとおりであります。

#### ①海運事業

内航事業では、船舶燃料油価格の高止まりや船員の労務費の増加などによるコスト負担増が続いております。また、例年より早い夏場の台風の影響を受け、停船不稼働を余儀なくされましたが、油糧・飼料関係における料金改定効果に加え、輸送量の増加に対し自社所有の船を中心に効率的な配船を行ったことが利益面を押し上げました。

結果としまして、売上高は3,434百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益155百万円（前年同期比35.7%増）と増収増益になりました。

外航事業では、前年同期に大きく収益を伸ばした建機類の輸送が契約終了となったことから、新たな輸送貨物の獲得を目指し、中国経由、中央アジア向けの三国間輸送の取扱いに注力しました。

結果としまして、売上高731百万円（前年同期比56.4%減）、営業利益77百万円（前年同期比66.5%減）と減収減益になりました。

#### ②港運・倉庫事業

港運事業では、海上運賃がピーク時から半減した事に加え、輸出入取扱いが低調に推移し売上げが伸び悩みました。価格交渉を進めたことにより粗利益段階では前年同期並みを確保しましたが、管理経費は増加しました。

結果としまして、売上高3,018百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益78百万円（前年同期比6.8%減）と減収減益になりました。

倉庫事業では、神戸及び姫路地区の危険物倉庫での入出庫、保管の取扱いは堅調に推移しました。一方で、港運事業に連動する輸出入貨物の海上コンテナ荷役作業や付帯作業の取扱いは伸び悩み、昨年11月に新設した危険物倉庫の償却負担増、光熱費等施設運営に必要な管理経費の増加もありました。

結果としまして、売上高792百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益38百万円（前年同期比60.5%減）と減収減益になりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,976百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益349百万円（前年同期比33.7%減）、経常利益391百万円（前年同期比32.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は271百万円（前年同期比33.6%減）と減収減益になりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は13,144百万円となり、前連結会計年度末と比較して350百万円増加いたしました。

流動資産は4,059百万円となり、前連結会計年度末と比較して202百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加333百万円等に対して、受取手形、売掛金及び契約資産の減少99百万円、その他に含まれる短期貸付金の減少40百万円等によるものであります。固定資産は9,085百万円となり、前連結会計年度末と比較して147百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の時価の上昇による増加311百万円等に対して、減価償却による固定資産の減少177百万円等によるものであります。

### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は8,781百万円となり、前連結会計年度末と比較して12百万円減少いたしました。

流動負債は4,244百万円となり、前連結会計年度末と比較して351百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少331百万円、未払法人税等の減少49百万円等に対して、その他に含まれる未払消費税等の増加52百万円等によるものであります。固定負債は4,536百万円となり、前連結会計年度末と比較して338百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加224百万円、その他に含まれる繰延税金負債の増加97百万円等に対して、その他に含まれるリース債務の減少14百万円等によるものであります。

### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,363百万円となり、前連結会計年度末と比較して362百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上271百万円、その他有価証券評価差額金の増加216百万円等に対して、配当金による減少136百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は33.2%となり、前連結会計年度末と比較して1.9ポイントの上昇となりました。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ333百万円増加し2,124百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は553百万円（前年第2四半期連結累計期間は420百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益391百万円、減価償却費177百万円、売上債権の増減額99百万円等に対して、法人税等の支払額165百万円等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は34百万円（前年第2四半期連結累計期間は149百万円の使用）となりました。これは、短期貸付金の減少額40百万円等に対して、有形固定資産の取得による支出7百万円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は263百万円（前年第2四半期連結累計期間は423百万円の使用）となりました。これは、長期借入れによる収入1,100百万円に対して、長期借入金の返済による支出707百万円、短期借入金の純減額500百万円、配当金の支払額135百万円等によるものであります。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、本日（2023年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,790	2,124
受取手形、売掛金及び契約資産	1,814	1,715
原材料及び貯蔵品	31	38
前払費用	87	71
その他	141	118
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	3,856	4,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	6,342	6,340
減価償却累計額	△3,032	△3,127
建物及び建物付属設備（純額）	3,310	3,212
船舶	952	952
減価償却累計額	△280	△314
船舶（純額）	671	637
土地	2,566	2,566
その他	1,059	1,033
減価償却累計額	△629	△639
その他（純額）	429	393
有形固定資産合計	6,977	6,810
無形固定資産		
その他	84	72
無形固定資産合計	84	72
投資その他の資産		
投資有価証券	1,804	2,116
その他	80	95
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	1,876	2,202
固定資産合計	8,937	9,085
資産合計	12,794	13,144

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144	1,172
短期借入金	2,884	2,552
未払法人税等	175	126
賞与引当金	161	161
その他	229	231
流動負債合計	4,596	4,244
固定負債		
長期借入金	3,510	3,735
船舶修繕引当金	42	55
退職給付に係る負債	462	481
その他	181	264
固定負債合計	4,197	4,536
負債合計	8,793	8,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	2,675	2,803
自己株式	△91	△79
株主資本合計	3,229	3,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	767	983
繰延ヘッジ損益	3	9
その他の包括利益累計額合計	770	992
純資産合計	4,000	4,363
負債純資産合計	12,794	13,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,437	7,976
売上原価	7,988	6,667
売上総利益	1,449	1,309
販売費及び一般管理費	922	959
営業利益	527	349
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	34
持分法による投資利益	7	0
為替差益	24	10
その他	16	14
営業外収益合計	72	61
営業外費用		
支払利息	19	17
その他	3	1
営業外費用合計	22	19
経常利益	577	391
特別利益		
固定資産売却益	6	—
特別利益合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	583	391
法人税等	174	120
四半期純利益	408	271
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	408	271

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	408	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	214
繰延ヘッジ損益	8	6
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	30	222
四半期包括利益	439	493
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	439	493
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	583	391
減価償却費	188	177
固定資産売却損益（△は益）	△6	—
為替差損益（△は益）	△21	△10
持分法による投資損益（△は益）	△7	△0
受取利息及び受取配当金	△25	△34
支払利息	19	17
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	0	18
船舶修繕引当金の増減額（△は減少）	6	12
売上債権の増減額（△は増加）	△3	99
棚卸資産の増減額（△は増加）	△11	△7
仕入債務の増減額（△は減少）	△48	27
未払消費税等の増減額（△は減少）	12	52
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△32	△13
その他	△105	△31
小計	548	700
利息及び配当金の受取額	26	35
利息の支払額	△18	△17
法人税等の支払額	△136	△165
営業活動によるキャッシュ・フロー	420	553
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△197	△7
固定資産の売却による収入	24	—
短期貸付金の増減額（△は増加）	1	40
長期貸付金の回収による収入	2	2
敷金及び保証金の回収による収入	20	—
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149	34
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	△500
長期借入れによる収入	300	1,100
長期借入金の返済による支出	△591	△707
リース債務の返済による支出	△24	△21
配当金の支払額	△106	△135
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423	△263
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△131	333
現金及び現金同等物の期首残高	1,964	1,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,833	2,124

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。